

令和2年度

一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会

事業計画書（変更分）

（事業期間：令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）



Japan Deaf
Athletics Association

**JAPAN SPORT
COUNCIL**

日本スポーツ振興センター

競技力向上事業

一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会

事業計画基本方針

2020年に開催される予定の第4回世界ろう者陸上競技選手権大会、当協会主催予定の第1回デカネーション（国際大会）を通じ、メディアの協力を得ながら社会に周知していくとともに2021年にブラジルで開催する予定である第24回夏季デフリンピック大会に向けて選手が競技に思う存分臨めるような環境構築に努めていきます。また8月に日本で開催するオリンピック・パラリンピックの中で実施する予定の啓発運動、2025年の夏季デフリンピック競技大会の日本開催を見据えて、啓発・普及・強化・発掘事業を取り組んでいくことが重要になってきます。このような視点に立って、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの後には、多くの聴覚障害者が身近な地域でスポーツができる環境をつくっていくことが、当協会としての役割だと考えます。そのためのこれから約1年間は大変重要な時期です。令和2年度は、このような状況の中で下記の基本方針を定めて、新たな事業をも含めさらに一層充実した事業計画を策定し、聴覚障害者陸上の振興を推進していきます。

1 基本方針

- (1) 障害者スポーツ（聴覚障害者陸上）の地域振興の推進をします。
- (2) 国際大会・国内大会での競技環境の整備・理解啓発事業を推進します。
- (3) 競技力向上に向けて選手及び役員を支援します。
- (4) 第1回デカネーション大会（国際大会）の実施
- (5) パートナーシップ協定などに向けて企業・団体等と新たな連携を推進します。
- (6) 協会の運営体制の充実そして組織体制を強化します。

2 重点事業

(1) 障害者スポーツ（聴覚障害者）の地域振興の推進

聴覚障害のある人がより身近なところでストレスなく練習や競技に打ち込める環境を整備するため、選手が拠点においている区市町村や地域スポーツクラブ、施設等と協働事業を実施していく。今後、より一層地域での練習や競技の環境を推進するように、当協会と地域センターが一体となって継続的に進めるとともに、協働実施した事業の地域での定着化を進めます。また、地域の競技場または体育館の利用を促進するためのマニュアルを活用し、身近な地域の体育施設の利用促進のための環境整備を進めます。

日本陸上競技連盟が契約している味の素ナショナルトレーニングセンターを利用できるように日本陸上競技連盟と話を進めていきたいと思っている。

(2) 国際大会の理解啓発事業の推進

聴覚障害者のオリンピック「デフリンピック」で世間から注目されるような成績をおさめなければならないと考えます。選手達が今後に向けてデフリンピック競技大会などの国際大会で良きパフォーマンスを発揮できるような環境整備そして円滑な運営が図れるように整えていきたいです。また聴覚障害者陸上アスリートが活躍することがデフスポーツ全般においての知名度の向上につながるので、2020年の東京オリンピック・パラリンピックで活躍できる機会を増やしていくために聴覚障害者陸上について知名度の向上・地域の理解促進を図る必要があります。そのため、地域での協働事業も含め、聴覚障害者陸上の理解啓発事業をさらに推進します。また、様々な情報を発信するポータルサイト（SNSなど）をはじめ、幅広く情報を提供し、多くの方に聴覚障害者陸上の魅力を広めていきたいと思っています。

(3) 競技力の向上

聴覚障害者陸上アスリートがデフリンピック大会などの国際大会で活躍することで、社会的に知名度向上につながり、更に言えば、2020の東京オリンピック・パラリンピックでデフも活躍できる機会が増えてくることを望んでいます。そのため、選手発掘事業を今年度も行うとともに、選手育成・強化にも力を注ぎます。また聴覚障害者陸上の統括団体としての頂上の競技会や強化合宿または練習会等を実施していきます。また、優秀な指導者を配置できるように関係機関などと連携し、コーチ育成強化事業も実施します。昨年度もそうですが例年、課題として残ったのはコーチの確保及び配置についてです。短期間または一時的なコーチではなく、常設帯同コーチの確保に努めていかなければならぬと考えております。そのためには、資金集めもしくはデフ陸上の魅力を更に高めていくことで、トップの方に顧問及びコーチに重任していくことが重要であると考えている。デフリンピック期間限定の監督そしてコーチ配置はあまり望ましくないと考え、その整備に努めていきます。

また、2019年度から取り組んでいるJAAF公認コーチの確保、育成、資格取得支援などに更に努めていき、協会内においても優秀なコーチを育成し公認資格を積極的に取得してもらう事で、競技力向上に繋げていきたいと考えています。

(4) 2020デフスポーツデベロップメントプロジェクトの発足

2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下、オリパラ）開催に向け、多くの競技団体はすでに多くのプログラムを実施し、普及・発展に向け活動を行っている様子を目にします。しかし、デフスポーツが、オリパラに深く関与する機会がほとんどない状況があります。ろう者のスポーツの祭典デフリンピックも日本での認知度は12%程度と大変低く、ろう学校でもオリパラ教育が平成29年度より実施されているが、使用される読本の中にデフリンピックに触れる記述は少なく、聾学校の生徒ですらデフリンピックのことを深く学ぶ機会がないのが現状です。

こうした様々な課題に対して、デフスポーツ団体が一丸となり、2020年に向けデフスポーツの普及、発展を目指し立ち上げました。ぜひ、多くデフスポーツ団体のお力を借りし様々なプログラムを立ち上げて2020年オリパラに向けて、デフスポーツを盛り上げていきたいと考えます。今年度は日本選手権大会において、光刺激スタートシステムを使用したエキシビションを取り入れていきます。

2020年10月3~5日、東京都駒沢公園陸上競技場にて「第1回IDAFワールドデフゲームズ・デカネーション大会」を計画。同時に第24回夏季デフリンピック日本代表選手選考会を開催予定しており、オリンピックムーブメントと併せてデフの活動を周知・振興していく。

(5) 企業・団体等と障害者スポーツとの新たな連携への支援

助成金を 東京2020オリンピック・パラリンピックに実施するデフスポーツデベロップメントプロジェクトの事業として第24回夏季デフリンピック大会及び第4回世界ろう者陸上競技選手権大会への関心が高まりつつある中で、関係機関・企業・団体等からの障害者スポーツへの支援や連携について相談に応じるとともに、情報の提供、企画提案、実施支援を行い、デフスポーツの振興を推進します。

(6) 協会の執行体制の強化

事業規模が拡大する中で、確実に事業を推進していくためには、執行機関としての組織、人員配置及び事務所などの運営体制を適切に整備し、協会事務局の体制を強化します。また常務的に事務所に常勤する経理的な人員配置に努めなければならないと考えています。同じ役員がいくつもの肩書きを担うことがないように人材の確保、人材育成などにも力を注ぎ、運営がスムーズに行くように分掌していきます。

令和2年度一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会 事業計画

【強化合宿の開催】

2021年第24回夏季デフリンピック競技大会における国際大会に向けた選手の競技力向上を目的として7月に行われる第4回世界ろう者陸上競技選手権大会を通過点とし、関係者と連携のもと合宿及び練習会等の事業を実施します。

事業名	日程	対象	場所
第1回中・長距離強化合宿	7月23日～26日	中・長距離強化指定選手	長野県 白樺湖
第2回中・長距離強化合宿	8月8日～12日	中・長距離強化指定選手	未定
フィールド強化合宿	9月未定	フィールド強化指定選手	国士館大学（予定）
短距離強化合宿	11月未定	トラック強化指定選手	未定（予定）
第1回合同強化合宿	10月未定	強化指定選手	関東圏内（予定）
投擲強化合宿	11月13日～15日	跳躍強化指定選手	愛媛県（予定）
跳躍強化合宿	11月21日～23日	跳躍強化指定選手	大阪体育大学（予定）
第2回合同強化合宿	12月26日～28日	強化指定選手	沖縄
トラック強化合宿	1月未定	短距離強化指定選手	関東圏内（予定）
第3回合同強化合宿	2月19日～23日	強化指定選手	沖縄（予定）
第4回合同強化合宿	3月未定	強化指定選手	神奈川（予定）

※一般選手に関しては、合宿参加標準記録を突破している者の参加を認めることとする。

【全国聾学校小中学生育成・普及事業】

今年度は公益財団法人山田昇記念財団から委託を受け実施する。第26回夏季デフリンピック競技大会に向けた小中学生（次世代）の育成と普及に努める。

事業名	日程	対象	場所
第1回デフジュニア陸上教室	5月 又は 6月	地域の学校及び聾学校に在籍している聴覚障害者（児）	未定
第2回デフジュニア陸上教室	8月 又は 9月	地域の学校及び聾学校に在籍している聴覚障害者（児）	未定
第3回デフジュニア陸上教室	10月 又は 11月	地域の学校及び聾学校に在籍している聴覚障害者（児）	未定
第4回デフジュニア陸上教室	12月	地域の学校及び聾学校に在籍している聴覚障害者（児）	未定
第4回デフジュニア陸上教室	1月 又は 2月	地域の学校及び聾学校に在籍している聴覚障害者（児）	未定
第4回デフジュニア陸上教室	3月	地域の学校及び聾学校に在籍している聴覚障害者（児）	未定

※日程は公益財団法人山田昇記念財団と相談の上、決定します。

【2020年度ジャパンパラ陸上競技大会 派遣】

第24回夏季デフリンピック大会に向けて選手を発掘及び選考し、日本代表選手団を編成し派遣します。

事業名	日程	対象	場所
2020年度ジャパンパラ陸上競技大会 派遣	5月2日（土）～3日（日）	登録者のみ	新国立競技場

【第54回全国ろうあ者体育大会 派遣】

第24回夏季デフリンピック大会に向けて選手を発掘及び選考し、日本代表選手団を編成し派遣します。

事業名	日程	対象	場所
第54回全国ろうあ者体育大会 派遣	9月26日～27日	全日本ろうあ連盟 登録者のみ	佐賀県総合運動場

【第1回デカネーション競技大会】

第24回夏季デフリンピック大会に向けて選手を発掘及び選考し、日本代表選手団を編成し派遣します。

事業名	日程	対象	場所
第1回デカネーション競技大会	10月3日（土）～5日（月）	招聘選手 招待選手（国内）	駒沢オリンピック公園陸上競技場

【第24回夏季デフリンピック大会代表選手選考競技会】

第24回夏季デフリンピック大会に向けて選手を発掘及び選考し、日本代表選手団を編成し派遣します。

事業名	日程	対象	場所
第24回夏季デフリンピック大会代表選手選考競技会	10月3日（土）～5日（月）	登録者及び一般選手	駒沢オリンピック公園陸上競技場

【第24回夏季デフリンピック大会 説明会】

第24回夏季デフリンピック大会に向けて選手選考をするにあたり説明会を開催します。

事業名	日程	対象	場所
第24回夏季デフリンピック大会選考説明会	5月3日（日） 延期	全選手・関係者	東京都内

【活動の場及び人材（選手）の発掘（普及）事業】

選手の発掘及びその後の継続的な活動へのきっかけ作りを目的として、関係団体・機関と協働で、選手の養成事業を実施します。

事業名	日程	対象大会	場所
選手の発掘事業	6月19日～20日	関東聾学校陸上競技大会	沼津
選手発掘 及び 大会視察	6月25日～28日	第104回日本選手権大会	大阪
選手発掘 及び 大会視察	8月12日～16日	全国高等学校総合体育大会	静岡
選手の発掘事業	9月25日～27日	全国聾学校陸上競技大会出場者	広島
選手発掘 及び 大会視察	10月9日～13日	第75回国民体育大会	鹿児島
選手の発掘事業	10月24日～26日	第20回全国障害者スポーツ大会	鹿児島

【競技支援・普及活動事業】

選手が大会に出場する際にスタートランプの貸出希望があれば、対応可能な限り当協会より支援スタッフの派遣をします。また、全国規模の大会やイベントなどでニシ・スポーツと共にブースを設けて、スタートランプの体験等の普及活動も行います。

事業名	日程	対象大会	場所
大会支援事業	未定	第61回東日本実業団陸上競技選手権	未定
大会支援事業	確認中	関東学生陸上競技選手権大会	確認中
大会支援事業	6月19日～20日	関東聾学校陸上競技大会	静岡
大会支援事業	9月26日～27日	全国ろうあ者体育大会	佐賀県
大会支援事業	9月25日～27日	全国聾学校陸上競技大会	広島
大会支援事業	10月1日～2日	九州聾学校陸上競技選手権大会	確認中
大会支援事業	10月24日～26日	全国障害者スポーツ大会	鹿児島
大会支援事業	1月	群馬県室内棒高跳記録会	群馬
大会支援事業	2月	群馬県室内棒高跳記録会	群馬
大会支援事業	3月	群馬県室内棒高跳記録会	群馬

※その他の競技大会についてはレンタル料、スタッフ派遣にかかる旅費の自己負担が発生。当協会にご相談ください。

【第4回世界ろう者陸上競技選手権大会 及び ヨーロッパ選手権大会派遣】

事業名	日程	対象	場所
ヨーロッパ選手権大会派遣	7月9日～11日 (派遣期間: 6～16)	第4回世界ろう者陸上競技選手権大会 日本代表選手の一部	スロバキア
第4回世界ろう者陸上競技選手権大会 派遣	7月18日～25日 (派遣期間: 16～27)	第4回世界ろう者陸上競技選手権大会 日本代表選手	ポーランド

【強化指定選手 メディカルチェック事業】

事業名	日程	対象	場所
メディカルチェック	通年	2020年度強化指定選手全員	各地

【東京2020 オリンピック・パラリンピック視察】

事業名	日程	場所
東京オリンピック視察事業	7月31日～8月9日	東京
東京パラリンピック視察事業	8月28日～9月6日	東京

【発展途上国・地域の選手強化プログラム】 ※今後要検討

アジア各国やヨーロッパ各国において、オンメダルの絶対条件である3か国5名以上の条件を満たすような育成を行う。

VI 諸会議（※3月の総会で、組織体制改革案を出します）

（目的）：選手の強化事業・協会運営を円滑に執行するために以下の諸会議を開催します。

1. 総会の開催

開催；**6月 14日・3月 日及びその他の月**

2. 理事会の開催

開催；4月・3月及びその他の月

3. 常任理事会の開催

諸課題を整理し、協議します。

開催；原則月1回

4. 顧問会議

顧問に会務を報告し、意見を仰ぎます。

5. 各種委員会・部会の設置

事業や規程、会員の拡大等、協会の抱える多方面にわたる諸課題について検討していきます。

6. 事業推進委員会の開催

協会の諸課題を解決し、円滑な業務の執行を図ります。

開催；毎月1回

7. 予算委員会の開催

予算案・決算報告書の作成にあたって円滑に運営ができる目的とする。

8. 国際大会派遣委員会・選考委員会の開催

国際大会の都度、派遣方針を定める会、選考委員会を選考会前後に行い公平な選手選考を図ります。

9. JPC事業報告書及び会計処理委員会（随時）

強化会議 事業計画書

事業名	日程	対象	場所
第1回強化会議	4月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第2回強化会議	5月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第3回強化会議 定期総会	6月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第4回強化会議	7月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第5回強化会議	8月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第6回強化会議	9月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第7回強化会議	10月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第8回強化会議	11月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第9回強化会議	12月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第10回強化会議	1月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第11回強化会議	2月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜
第12回強化会議（定期総会と兼ねる）	3月	強化事業に関わっている強化スタッフ	横浜

【ガバナンスコード対策】

・2020年度、JDAAがガバナンスコード審査対象競技団体に指定され、通年かけて協会の体制や規約、運営に関する審査が行われることから、対策費として計上する。

令和2年度予算案（別紙）